

キーン・ソード25

最大規模の日米共同演習 日本全域で対中戦争想定

10月23日～11月1日の日程で、日米共同統合実動演習「キーン・ソード25」が行われ、沖縄県、鹿児島県、北海道、青森県、四国沖や東北沖の太平洋上、日本海などで大規模訓練が展開されました。防衛省発表によると 演習参加規模は

(1) 自衛隊：人員 約33,000名、艦艇 約30隻、航空機 約250機

(2) 米 軍：人員 約12,000名、艦艇 約10隻、航空機 約120機

この他、オーストラリア軍、カナダ軍も参加する とのこと。

横田基地のオスプレイが 10月20日沖縄に向かいました

横田基地のCV-22B 12-0064が西へ向かい離陸しました。これより先に CV-22B 08-0051が沖縄へ行ったようです。

鹿児島県徳之島での離発着訓練、沖縄県伊江島でのパラシュート降下訓練、沖縄県嘉手納基地から出砂島への人員輸送に参加しました。横田基地所属の輸送機 C-130J-30も連日、共同演習に出かけました



多数の大型空中給油機、輸送機が横田基地に集結

空軍の大型空中給油機 KC-135R がカンザス州フォーブス・フィールド基地、メリーランド州アンドリュース基地、インディアナ州グリソム基地、カリフォルニア州マーチ基地から横田基地に飛来し、横田基地で給油用タンクを満載にし、連日「キーン・ソード25」に参加する米軍機や自衛隊機への空中給油をしました。



海軍、海兵隊機（主に戦闘機）に給油する時には、フライングブーム先端にドローグホースを取り付けます。



ミネソタ州ミネアポリス基地の輸送機 C-130H が3機飛来し、横田基地所属の輸送機 C-130J-30と横田基地周辺で飛行訓練を行うとともに、横田基地を足場にし、沖縄県、鹿児島県、北海道、青森県などでの演習に参加しました。

